

R2

## アクションプラン全体計画（平成28～令和2年度）

推進項目	32 公債費の抑制					重要度	A		
番号・取組事業名	32001	公債費の適正管理			作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31	
担当部署	040100	財政部 財政課			責任者	高橋 秀明	担当者	財政担当	
取組年度	H28	～	R2						
効果	歳出削減								
最終目標	・借入条件の見直し(据置期間,償還期間の短縮)による,利子負担の削減 ただし,単年度の公債費負担は増えるため,毎年の収支や将来への影響を十分に把握し実施								
年度	区分	取組内容・目標							
平成28年度	計画どおり	収支状況を見ながら,借入条件の見直し(据置期間,償還期間の短縮)を実施 約53億円分を実施							
平成29年度	計画どおり	収支状況を見ながら,借入条件の見直し(据置期間,償還期間の短縮)を実施 約41億円分を実施							
平成30年度	計画どおり	収支状況を見ながら,借入条件の見直し(据置期間,償還期間の短縮)を実施 約27億円分を実施							
令和元年度	計画どおり	収支状況を見ながら,借入条件の見直し(据置期間,償還期間の短縮)を実施 約6.5億円分を実施							
令和2年度	計画どおり	収支状況を見ながら,借入条件の見直し(据置期間,償還期間の短縮)を実施 15～20億円分の実施を目標							
成果指標	指標名	借入条件の見直し実施額					単位	千円	
	年度	平成27年度 当初予算(基準)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	最終値	
	当初計画値	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	7,500,000	
	変更計画値							0	
実績値	5,327,900		4,109,100	2,732,700	657,200	285,444	13,112,344		
効果額	歳入増加	当初計画額						0	
		変更計画額						0	
		実績額						0	
	歳出削減	当初計画額	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	45,000	
		変更計画額						0	
		実績額	13,221	10,671	6,291	1,631	2,887	34,701	
	計	当初計画額	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	45,000	
		変更計画額	0	0	0	0	0	0	
		実績額	13,221	10,671	6,291	1,631	2,887	34,701	
見込まれる その他効果 (金額以外)		利子負担の削減	利子負担の削減	利子負担の削減	利子負担の削減	将来負担の軽減・利子負担の軽減			

R2

## アクションプラン(令和2年度)

推進項目	32 公債費の抑制				重要度	A	
番号・取組事業名	32001	公債費の適正管理	作成日	R2.4.1	更新日	R3.3.31	
担当部署	040100	財政部 財政課	責任者	高橋 秀明	担当者	財政担当	
	区分	取組内容・目標					
令和2年度	計画どおり	収支状況を見ながら、借入条件の見直し(据置期間、償還期間の短縮)を実施 15~20億円分の実施を目標					
取組項目			4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
1	財政推計(市債償還)の実施			○			
2	借入見込み額の精査, 借入条件の検討, 借入の実施					○	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
進捗							
上半期	進捗状況	計画どおり	コメント	取組項目1は9月に財政推計を実施し、市債の償還及び残高等の将来推計を行った。今後、収支状況を見ながら、借入条件の見直し(据置期間、償還期間の短縮)を実施していく。			
進捗・実績							
年度末	成果指標名	借入条件の見直し実施額		計画値	単位 千円 1,500,000	実績値	単位 千円 285,444
	達成状況【成果】	その他	コメント	収支状況を見ながら借入条件の見直しを実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う後年度の財政運営に与える影響が不透明であったため、据置期間・償還期間の短縮については実施しなかったが、令和2年度に借換する予定の566,544千円のうち、交付税措置のない285,444千円については、借換を行わないことにより、将来負担の軽減・利子の削減に努めた。			
	進捗状況【活動】	計画どおり					
	計画変更(次年度以後)	取組内容		コメント			
計画値							
評価	評価者	鬼沢 徹雄	※重要度A事業は副市長、重要度B事業は部局長を評価者とする				
	総合評価(A・B・C)	B	コメント 指示事項	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響を受け、借入条件の見直しが実施できなかったため据置き期間の短縮については実施できなかったが、借換債の減額により、将来負担の軽減・利子の削減に努められた。今後とも継続的に取り組まれない。			
	方向性	その他					